

# 令和4年度 文京区議会 災害対策調査特別委員会 視察報告書

○視察日程 令和4年11月17日（木）

○視察先 区立茗台中学校内備蓄倉庫の視察（文京区春日2-9-5）

○視察目的 区の災害対策に関する調査・研究

○視察参加者

【委員】	委員長	関川けさ子
	副委員長	沢田けいじ
		田中香澄
		上田ゆきこ
		萬立幹夫
		白石英行
		浅田保雄
		吉村美紀
		宮本伸一
		佐藤こういち

【説明員】	総務部 防災課長	鈴木大助
	総務部 防災課 訓練・備蓄担当主査	小林伸彦

【随 行】	区議会事務局長	小野光幸
	区議会事務局 議事調査主査	長田高志
	区議会事務局 議事調査担当	宮川美帆

# 視察概要

## 視察目的

区の災害対策に関する調査・研究をするため、避難所の備蓄物資の整備状況、避難所開設キットの使用方法及び受水槽を確認する。

## 視察訪問先

区立茗台中学校内備蓄倉庫の視察（文京区春日 2-9-5）

## 視察行程

まず、今年度新たに購入された備蓄物資の説明を受け、整備状況を確認した。次に、避難所開設キットを使って初動対応の流れを確認した。最後に受水槽について、災害時の水の確保と利用方法等を確認した。



区立茗台中学校内備蓄倉庫にて

## 1 備蓄物資の整備状況

備蓄物資の整備状況について、今年度新たに購入したものを中心に確認した。

視察した区立茗台中学校（春日2-9-5）は、文京中央町会・久堅町民会・久堅親交会の計3町会の指定避難所であり、備蓄倉庫には約1,000～1,200名分の災害用備蓄物資が保管されている。

まず、水のいらないドライシャンプーをはじめ、今年度新たに購入した物資について説明を受け、それらの使用方法等について確認した。

次に、新型コロナウイルス感染症対策の物資として、パーテーション、フェイスシールド、プラスチックガウン等が数多く備えられていた。避難所内で新型コロナウイルス感染症を蔓延させないように、基本的な対策が徹底されていることを確認した。

また、ヴィーガン（完全菜食主義者）対応の防災パン、グルテンフリーの豆腐ジャーキー等、多様な避難者に対応できるよう、食糧品が豊富に備えられていた。

その他、歯ブラシ、液体ハミガキ、冷感タオル、ベビーバス、圧縮毛布等、避難所で過ごすうえで必要な物資が備えられていることを確認した。



防災課長より備蓄物資の説明を受ける



多様な避難者に対応できる備蓄物資



## 2 避難所開設キット

災害が起きた直後は混乱や人員不足が想定される。そのような状況において、「参集した誰もが」、「躊躇なく」、「実働できる」ことを目的に導入されたのが避難所開設キットである。平成30年度の重点施策として導入され、区内33か所すべての避難所に設置されている。

避難所開設キットには、発災後3時間程度の行動を想定して、避難所開設の前段階から開設後の初期段階までの行動手順書及び各種掲示物が収納されている。

具体的には6種類のファイルケースが収納されており、「はじめにやること」、「運営本部班」、「給食物資班」、「総務情報班」、「避難者援護班」、「20名未満の場合」がある。

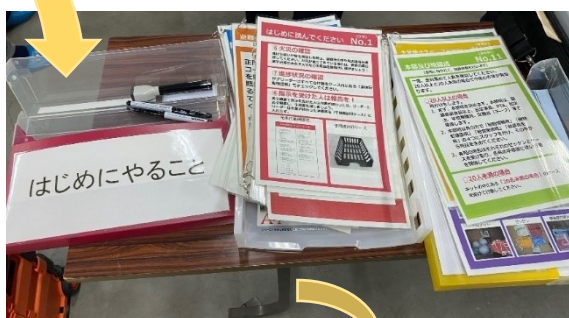
今回の視察では、「はじめにやること」を用いて、避難所を開設するまでの初動対応を実際に体験した。

行動手順書は、一つひとつの手順が簡潔に、かつ写真等を用いて分かりやすく示されているため、初めて避難所開設に携わる人でも迅速かつ的確な行動ができるようになっている。

### 避難所開設キット



ファイルが収納されており、  
やる事が分かりやすく示されている。



# 視察の様子



↑ 防災課職員による実演



← 実際に行動手順書に従って、避難所開設の流れを体験する

## 3 受水槽

茗台中学校地下室にある受水槽について、災害時の水の確保状況と利用方法等を確認した。この受水槽により、避難住民約1,000～1,200人の3日分の水が確保できる想定である。

受水槽の水は、飲料水や生活用水としても使用できるため、災害時に水道が使えなくなってしまった場合、避難住民にとって貴重な水源となる。

